



© 羽海野チカ／白泉社

EVENT



天童のイベント盛りだくさん

2月 3月 天童雛飾り FESTIVAL

市内旧家に伝わる古今雛や有職雛、享保雛など、古きよき時代の豪華な雛飾りを展示します。協賛店では、オリジナルの雛料理や雛菓子を楽しむことができます。



4月 天童桜まつり FESTIVAL

昼は桜の名所舞鶴山で人間将棋、夜は倉津川沿いでしだれ桜を堪能できます。しだれ桜のタペでは倉津川沿いのしだれ桜が750mにわたってライトアップされ、幻想的な雰囲気の中で、むかしばなしなどのイベントが行われるほか、お祭り屋台も出店します。

人間将棋



しだれ桜のタペ



2月 スノーパーク フェスタ FESTIVAL

天童の冬のイベントといえば、これ！毎年大人気の「ちびっ子雪上宝探し」をはじめ、身体温まる売店メニューを多数ご用意しております。また、県内屈指のキッズランドを設け、チューブスライダーやスノーモービル乗車体験など、子供向けのイベントもたくさん体験できます。



7月 おくのほそ道 天童紅花まつり FESTIVAL

松尾芭蕉が元禄2年(1689年)の7月13日に天童の地を訪れ、「まゆはきを俵(おもかげ)にして紅粉(べに)の花」と「行く末は誰が肌いれん紅の花」と詠んだといわれる天童の紅花が、紅花畑に咲き誇ります。約3万本の紅花が満開を迎える7月上旬には、紅花畑一面が鮮やかに染まります。



8月 天童夏まつり FESTIVAL

毎年8月8・9日に温泉街で行われるイベントです。花笠おどりパレードや天童花駒おどり、将棋みこしパレードと盛りだくさんです。



11月 令和鍋合戦 FESTIVAL

山形県内をはじめ、全国の鍋料理を一度に楽しめます。市内約40店舗の鍋を食べて回る「食べ歩きスタンプラリー」方式のイベントも開催します。



天童 ラ・フランスマラソン MARATHON

大会の時期に食べごろを迎えるラ・フランスでランナーのみなさんをお迎えします。エイドステーションで美味しいラ・フランスをお召し上がりください。もちろんゴール後もラ・フランスが食べ放題!!



4月~11月 「クアの道®」 健康ウォーキング WALKING

「クアの道®」とはドイツのクアオルト(療養地)で設置されている健康増進のための道を参考にしたものです。森の中や傾斜のある道を活用し、楽しく快適に歩行して、生活習慣病の予防や健康増進に取り組むことができます。



RECOMMEND SPOT



見逃せない観光スポット

ROAD STATION 道の駅天童温泉 もり~な天童



館内には、天童産のラ・フランスを使用したスイーツなどを堪能できる専門店があるほか、将棋駒製作実演コーナーでは将棋駒製作の様子を見学することができます。市内の観光案内も行っていますので、お気軽にお立ち寄りください。

天童市鎌ノ町2丁目3番41号
電/023-651-2002
営/9:00~18:00
休/1月1日



PLAY HOUSE 子育て未来館げんキッズ

天候に左右されずにファミリーで楽しめる屋内型遊具施設です。大型遊具も備えていますので赤ちゃんから小学生まで幅広い年齢層が楽しめます。どなたでも無料でご利用いただけます。



天童市芳賀タウン北2丁目7番18号
電/023-651-8240
営/9:00~19:00
休/第3水曜
(祝日の場合は開館、翌日休館)及び元旦



MUSEUM

広重美術館

「東海道五十三次」で知られる江戸後期の浮世絵師歌川広重の美術館です。幕末、広重は天童織田藩の依頼を受けて大量の肉筆画を描きました。そうした関わりを紹介するとともに、広重の浮世絵版画を、毎月テーマをかけて展示しています。

天童市鎌田本町1丁目2番1号
電/023-654-6555
営/10:00~17:00
休/毎週火曜
(祝日の場合は開館、翌日休み)

料金:一般800円、高大生500円、小中学生300円



出羽桜美術館

朝鮮最後の王朝、李朝の陶磁器を中心に、桜の美術、酒器等数千点を所蔵しています。李朝の工芸品は、朝鮮半島でも貴重なものといわれています。美術館は、明治時代後期の建物で登録有形文化財であり、建物自体が美術品のようです。

天童市一日町1丁目4番1号
電/023-654-5050
営/9:30~17:00
休/毎週月曜(祝日の場合は開館、翌日休み)及び年末年始

料金:一般600円、高大生400円、小中学生200円



天童市美術館



天童市の芸術・文化を紹介する代表的な施設で周辺には図書館、市民文化会館もあります。

天童市老野森1丁目2番2号
電/023-654-6300
営/9:30~18:00
休/毎週月曜
(祝日の場合は開館、翌日休み)及び年末年始

料金:大人420円、学生・高校210円、小中学生100円

企画展示・特別展示期間は料金が変わります



天童織田の里歴史館 (旧東村山郡役所資料館)



明治12年に東村山郡役所として建てられた異国情緒が漂う洋館で、明治時代の洋風建築として、県の有形文化財に指定されています。アーチ型のステンドグラスからは、色鮮やかな光が注ぎ、明治のロマンに包まれます。

天童市五日町2丁目4番8号
電/023-653-0631
営/4月~10月 9:30~18:00
11月~3月 9:00~17:00
休/毎週月曜
(祝日の場合は開館、翌日休み)及び年末年始

料金:一般220円、高校110円



修養の庭 御苦楽園



昭和初期に山形正宗の創始者で知られる水戸部弥作氏が、失業者を雇い約8年の歳月をかけて築園しました。県内外から集めた銘木・銘石とともに立ち並ぶ柱石には、人々の苦楽を教える名言・格言が刻まれています。ゆったりとした日本庭園の趣が漂います。

天童市奈良沢乙47番地
電/023-653-3392
営/8:00~17:00
休/1月10日~2月末

料金:大人400円、子ども200円



TEMPLE

立石寺(山形市)



天童は、松尾芭蕉が「閑さや岩にしみ入る蟬の声」の句を詠んだ山形県の大観光名所・山寺の最寄りの地域です。天童から少し足を伸ばし、芭蕉も訪れた屈指の名刹で「閑さ」を感じてみませんか?



山形市山寺4456番地1
電/023-695-2816(山寺観光協会)

若松寺



最上三十三観音第一番霊場の若松寺は、重要文化財の指定を受けた貴重な遺産があり、縁結びの観音様としても知られています。4月~12月の第一日曜日の午前10時から、良縁成就のパワースポット若松観音の観音堂で縁むすび祈願祭を行っており、たくさんの著名人の方々が参拝に訪れています。

天童市山元2205番地1
電/023-653-4138
休/年中無休

